

くりの実会

第9回定期演奏会



藤城 清治 「復興の光、閑上被災地を描く」

©Seiji Fujishiro/HoriPro

2012年6月24日(日) 14:00開演

 紀尾井ホール

後援 JCDA 日本合唱指揮者協会 東京都合唱連盟

プログラム

指揮 辻 秀幸
ピアノ 加納 文子

I. 女声合唱とピアノのための

愛の詩集

松下 耕 作曲

- どこかに
馬来乙女マニヤナの歌える
四月のうた
一詩人の最後の歌
- C. ロセッティ 作詩・高見 順 訳詩
Y. ゴル 作詩・堀口大學 訳詩
谷川俊太郎 作詩
H. アンデルセン 作詩・山室 静 訳詩

II. 東北にエール（被災地と共に在るために）

- 空に樹により
聞こえる
北の国から
故郷
きょうこそ神がつくられた日
薔薇、見知らぬ国より
出発
- 岩間芳樹 作詩・新実徳英 作曲
さだまさし 作曲・松下 耕 編曲
高野辰之 作詩・岡野貞一 作曲
詩編 118 より・松下 耕 作曲
山崎佳代子 作詩・松下 耕 作曲

—— 休 憩 ——

III. 児童・女声合唱組曲

- ちゃんがちゃがうまこ 宮沢賢治 詩 千原英喜 曲
1. 烏百態
 2. ちゃんがちゃがうまこ
 3. 青い槍の葉 （ささら-加納文子、平太鼓-中村拓紀）
 4. 祭日
 5. 敗れし少年の歌へる〈第2番〉
 6. 黒い影法師のうた

IV. 同声合唱のためのコンポジション

- 日本の民謡 第一集 松下 耕 作曲
- 1 北海盆唄（北海道民謡）
 - 2 会津磐梯山（福島県民謡）
 - 3 八木節（関東地方民謡）

プロフィール

辻秀幸 Hideyuki Tsuji (指揮)

幼少よりヴァイオリン・ピアノ・フルート・金管楽器・作曲を学び、東京藝術大学声楽科及び同大学院独唱科終了。声楽を渡邊高之助、宗教音楽を小林道夫・佐々木正利の各氏に師事。1985年イタリアのミラノを中心にヨーロッパへ音楽遊学。L. グッアリーニ女史・F. タリアヴィーニ・H. リリングらの各氏に師事。

1986年イタリアのノバラ市国際声楽コンクール入賞。同年ドイツのハイデルベルク、1988・89年にはウィーン楽友協会大ホール、2000年にはカイザーラウテルン、パッサウ他、数都市でベートーヴェン“第九”のソリストを務め、ヨーロッパ各地でコンサートに出演し好評を博す。国内でもドイツ・イタリア・日本歌曲を中心に各地でユニークなリサイタル活動を展開する。オペラでは古典から現代に至るまで、数多くの作品に出演し、その優れた歌唱と演技は、新聞・音楽誌上でも度々絶賛された。特に宗教音楽の演奏家としての活躍は目覚しく、バッハ・ヘンデル・ハイドンの宗教曲・オラトリオの演奏では、ソリスト・エヴァンゲリスト・指揮者として、その活動は常に注目を集めている。現在指導にあたっているアマチュア合唱団は十数団体を数える。共著に『わかって歌おうシリーズCD付き解説書：レクイエム発音講座／フィガロの結婚』が有る。

洗足学園音楽大学客員教授 ぐるーぶ・なべ運営委員長

NHK「みんなのコーラス」レギュラー解説者

日本合唱指揮者協会理事 東京都合唱連盟理事 Ensemble《BWV2001》メンバー iARTS 理事
アットプリモ同人



©Asako Nanami

加納文子 Fumiko Kanou (Piano)

東京藝術大学附属音楽高校を経て、同大学卒、同大学院修了。在学中より同大学オーケストラと協演。NHK-FM新人演奏会、東京藝大定期演奏会に協奏曲のソリストとして出演など。現在は《音の小箱》シリーズにおいて「小さなスペースで身近に音楽を」の主旨でヴィオラ奏者堀あゆみとおなじみの曲から知られざる名曲まで楽しめるコンサートを続け毎回好評を得ているほか、ランクフルト歌劇場管弦楽団首席コントラバス奏者の野田一郎氏との共演をはじめ、日本各地においてソロ、室内楽、歌曲伴奏、合唱伴奏など幅広く演奏活動を行っている。

ピアノを下村和子、井口秋子、小林仁、伊達純、チェンバロを古賀裕子の各氏に師事。

プロフィール

(ヴォイストレーナー)

佐竹由美 Naomi Satake (Soprano)

東京藝術大学及び同大学院博士課程修了。学部を首席で卒業後、ロータリー国際親善奨学生としてミラノに留学。第53回日本音楽コンクール第2位、ノバラ市国際音楽コンクール第2位、第8回バッハ国際コンクール第4位入賞。よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞受賞。国立音楽大学および東京藝術大学非常勤講師。二期会会員
Ensemble《BWV》メンバー



(ヴォイストレーナー)

阪口直子 Naoko Sakaguchi (Alto)

武蔵野音楽大学卒。東京藝術大学大学院修了。三池三郎、G. ファヴァレットに師事。84年度文化放送音楽賞受賞。85年イタリア・シエナのキジアーナ音楽院夏期講習にて最優秀賞受賞。ヘンデル「メサイヤ」をはじめバロック時代から近代までの宗教曲のソリストとして数多く出演。国立音楽大学非常勤講師。

Ensemble《BWV2001》メンバー



(発声練習)

本宮廉子 Kiyoko Motomiya

日本大学芸術学部音楽学科卒業。同大学院修了。フランスにて夏期国際アカデミーを受講。ヘンデル「メサイア」、バッハ「マタイ受難曲」、モーツァルト「ハ短調ミサ」、プーランク「グロリア」等にソリストとして出演のほか、アンサンブル活動も多数。古楽、近代フランス歌曲を中心に幅広く演奏活動を行う。



どこかに

クリスティナ・ロセッティ 作詩
高見 順 訳

どこかに かならず いらっしゃる
わたしの愛にこたえてくださる方が
そのお顔 お声は知らないが
知らないままで終わるかもしれないが

どこか もしかすると 遠いところ
陸の果て 海につきるところ
めぐる月 夜ごと輝く星の向うに
その方はいらっしゃるかもしれないが

どこか ひょっと近いところ
垣根ひとつへだてた向こうにいらして
美しい芝生に冬の名残り葉の散ると共に
どこかへ消え去ったのかもしれないが

マレー 馬來乙女マニヤナの歌える

イヴァン・ゴル 作詩
堀口 大學 訳

I
あなたの舟が水の上のこす
あの舟あし、あれがあたくし。

あなたの椰子の木が地に印す
あの影、あれがあたくし。

あなたの散弾に中って
山鳥がたてるあの小さな叫び声
あれがあたくし。

XI
あなたに知っていただいて
あたしは初めて自分を知りました。

あなたに知られるまでは、自分の肉体が
遠い大陸のような気持でした。

南と東の区別さえ
あたしは知りませんでした。

いかついあたしの肩は
岩のように尖っていました。

あなたの器用な指先が
自分を知らせてくれました。

足は走ることを覚え
心臓は動悸を知りました。

いまあたしは自分が可愛い
あなたにあたしが可愛いと同じに。

四月のうた

谷川 俊太郎 作詩

はじめてのものは
新しい
けれどよく知りつくしているものは
もっと豊かだ

はじめて会ったとき
私はあなたを恋した
けれどいま
私はあなたを愛している

たがいにたがいの運命となってゆく
土が樹を育てるように
樹が土をよみがえらせるように

そしてふたりが余りに近いとき
私はひそかにあやぶむ
熟れすぎた愛の果実がもう落ちはしまいかと

一詩人の最後の歌

ハンス・クリスチャン・アンデルセン 作詩
山室 静 訳

私を高く運んで行け、お前、強い死よ
魂の大きな国へ。
私は神が命じた道を進んだ
額をまっすぐにあげて。
私が与えたすべては、神よ、あなたのもの
どれだけ私の富があるのか、私は知りませんでした。

私が費したものはほんのわずかです。
私は枝の小鳥のように歌っただけです。

さようなら、あざやかに赤い一本一本のばらよ
さようなら、お前、いとしいもの！

ただ私を運んで行け、お前、強い死よ
たとえこの世にあるのが楽しいにせよ！
ありがとう神さま、あなたが与えて下さったもののために
ありがとう、これから来るもののために！
死よ、時間の海を越えて飛んで行け
さあ、永遠の夏の方へ。

聞こえる

岩間 芳樹 作詩

鐘が鳴る 鳩が飛び立つ
広場を埋めた群衆の叫びが聞こえる
歌を 歌をください

陽が落ちる 油泥の渚
翼なくした海鳥のうめきが聞こえる
空を 空をください

歩み寄る 手に手に花を
歲月こえて壁ごしに「歓喜の歌」が聞こえる
夢を 夢をください

こだまして 木々が倒れる
追われて消えた野の人の悲しい笛が聞こえる
森を 森をください

時代が話しかけている
世界が問いかけている
見えている 聞こえている 感じている
だけど なにもできないこの部屋で
膝を抱いてひとりうずくまっているいらだち
教えてくださいなにができるか
光っている道を心ひらいて歩いていきたい
なにができるか教えてください

ふるさと
故郷

高野 辰之 作詩

兎 追いしかの山、
小鮎釣りしかの川、
夢は今もめぐりて、
忘れがたき故郷。

如何にいます父母、
恙なしや友がき、
雨に風につけても、
思い出ずる故郷。

志をはたして、
いつの日にか帰らん、
山は青き故郷。
水は清き故郷。

北の国から

ヴォカリーズ

きょうこそ神がつくられた日

(詞編 118 より)

きょうこそ神がつくられた日、
喜びうたえ、この日とともに。

恵み深い神に感謝せよ。
そのあわれみは永遠。
イスラエルよ、叫べ。
神のいつくしみは絶えることがない。
(きょうこそ神がつくられた日)

神の右の手は高く上がり、
その右の手は力を示す。
私は死なず、わたしは生きる、
神のわざを告げるために。
(きょうこそ神がつくられた日)

家造りの捨てた石が、
隅の親石となった。
これは神のわざ、
人の目には不思議なこと。
(きょうこそ神がつくられた日)

出発

山崎 佳代子 作詩

まだ見も知らぬ
海の広さへ
それでも川は流れて
君の歌は終わることを知らず

だから僕たちは
こうして冷たい手をかざし
やわらかな火をかこみ
朝をむかえる準備をする

(向こう岸に
豎琴が鳴るのを聞いた?)
やがて空はあざやかに
ひろがりはじめ

僕らの旅がはじまる

ちゃんがちゃがうまこ

宮沢 賢治 詩

1. 烏百態

雪のたんぽのあぜみちを
ぞろぞろあるく鳥なり

雪のたんぽに身を折りて
二声鳴けるからすなり

雪のたんぽに首を垂れ
雪をついばむ鳥なり

雪のたんぽに首をあげ
あたり見まはす鳥なり

雪のたんぽの雪の上
よちよちあるくからすなり

雪のたんぽを歩きつくし
雪をついばむからすなり

たんぽの雪の高みにて
口をひらきしからすなり

たんぽの雪にくちばしを
ちつとうづめしからすなり

雪のたんぽのかれ畦に
ぴょんと飛びたるからすなり

雪のたんぽをかちとりて
ゆるやかに飛ぶからすなり

雪のたんぽをつぎつぎに
西へ飛びたつ鳥なり

雪のたんぽに残されて
脚をひらきしからすなり

西にとび行くからすらは
あたかもごまのごとくなり

2. ちゃんがちゃがうまこ

夜明けには
まだ間あるのに
下の橋
ちゃんがちゃがうまこ見さ出はた人

ほんのぴゃこ
夜明けががった雲のいろ
ちゃんがちゃがうまこ 橋渡て来る

いっしょけめに
ちゃんがちゃがうまこはせでげば
夜明けの為が
泣くだあいよな気もす

下のはし
ちゃんがちゃがうまこ見さ出はた
みんなのながさ
おどともまざり

3. 青い檜の葉

(ゆるゆるゆるるやなぎはゆるる)
雲は来るくる南の地平
そらのエレキを寄せてくる
鳥はなく啼く青木のほづえ
くもにやなぎのくわくこどり

(ゆれるゆれるやなぎはゆれる)
雲がちぎれて日ざしが降れば
黄金の幻燈 草の青
気圏日本のひるまの底の
泥にならべるくさの列
(ゆれるゆれるやなぎはゆれる)
雲はくるくる日は銀の盤
エレキづくりのかはやなぎ
風が通ればさえ冴え鳴らし
馬もはねれば黒びかり
(ゆれるゆれるやなぎはゆれる)
雲がきれたかまた日がそそぐ
土とスープと草の列
黒くをどりはひるまの燈籠
泥のコロイドその底に
(ゆれるゆれるやなぎはゆれる)
りと立て立て青い槍の葉
たれを刺そうの槍ぢやなし
ひかりの底でいちにち日がな
泥にならべるくさの列
(ゆれるゆれるやなぎはゆれる)
雲がちぎれてまた夜があけて
そらは黄水昌ひでりあめ
風に霧ふくぶりきのやなぎ
くもにしらしらそのやなぎ
(ゆれるゆれるやなぎはゆれる)
りと立て立て青い槍の葉
そらはエレキのしろい綱
かげとひかりの六月の底
気圏日本の青野原
(ゆれるゆれるやなぎはゆれる)

4. 祭日

アナロナビクナビ睡たく桐咲きて
峡に瘡のやまひつたはる

ナビクナビアリナリ赤き幡もちて
草の峠を越ゆる母たち

ナリトナリアナロ御堂のうすあかり
毘沙門像に味噌たてまつる

アナロナビクナビ踏まるる天の邪鬼
四方につつどり鳴きどよむなり

5. 敗れし少年の歌へる〈第2番〉

ひかりわななくあけぞらに
精麗サフィアのさまなして
きみにたぐへるかの惑星の
いま融け行くぞかなしけれ

雪をかぶれるびやくしんや
百の海岬いま明けて
あをうなばらは万葉の
古きしらべにひかれるを

6. 黒い影法師のうた

馬こは、みんな、居なくなた。
仔っこ馬[も]みんな随いで行た。
いまであ野原もさあみしんぢや、
草ばどひでりあめばかり。

一昨日、みいぞれ降ったれば、
すずらんの実い、[みんな]赤ぐなて、
雪の支度のしろうさぎあ、
きいらきいらど齒あみがぐ。

※[]内の言葉は付曲していない。

日本の民謡 第一集

1. 北海盆唄（北海道民謡）

へハア北海名物（ハードシタドシタ）
数々コリヤ あれどヨ（ハーソレカラドシタ）
俺がナァ 俺が北海道のコリヤ
（ハ ヤーレット）
ソレサナァ 盆踊りヨ
（ハエンヤーコラヤ ハードッコイドッコイ
ドッコイナット）
（以下唄ばやし略）

へハア恋の大沼
情けのコリヤ小沼ヨ
もゆるナァ もゆる思いのコリヤ
ソレサナァ 駒ヶ岳ヨ

へハア逢いに来たのに
亀田のコリヤ祭りヨ

なぜにナァ なぜに邪魔するコリヤ
ソレサナァ 人の波ヨ

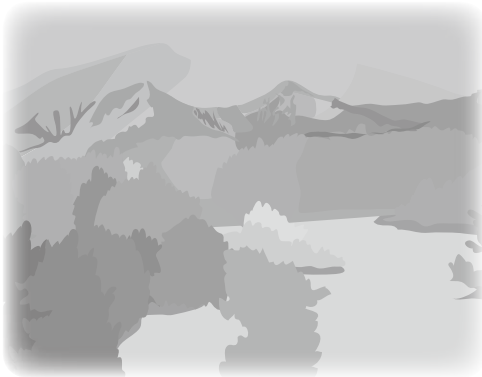
へハア歌えはやせよ
叩けよコリヤ太鼓ヨ
月のナァ 月の世界にコリヤ
ソレサナァ 届くまでヨ

へハア踊り見に来て
踊りのコリヤ中にヨ
いつかナァ いつか手を振るコリヤ
ソレサナァ 浴衣がけヨ

2 会津磐梯山（福島県民謡）

へエイヤー会津磐梯山は
宝の（コラ）山よ
笹に黄金が（エーマタ）
なり下がる

へエイヤー会津盆地の みどりの夏よ
風もほがらに 鶴ヶ城



3 八木節（関東地方民謡）

へハア国は上州 佐位郡にて
音にきこえし 国定村の
博徒忠治の 生立ちこそは
親の代まで 名主をつとめ
人に知られし 大身なるが
大事息子は 即ち忠治
蝶よ花よと 育てるうちに

へハア二十五才は 厄年なれば
全て万時に 大事を取れと
丁度その頃 無宿の頭
音にきこえた 島村伊三
彼と争う その始まりは
かすり場につき 三度も四度も
虫をこらえて がまんをしたが

へハア一の子分で 文三がきかぬ
首をまっとの 引導舟を
腰に差したる 商売なれば
飯の喰い上げ 捨ておかれんと
きいて忠治は 小首をかしげ
さればこれから 喧嘩の用意
いずれ頼むと 強者ばかり
へハア頃は午年 七月二日
鎖りかたびら 着込みを着し
わらじきゃはんで 身軽の仕度
伊達の鉢巻 皆それぞれに
手勢すぐって 境の町で
様子伺う 忍の人数
それと知らずに 島村伊三

ご挨拶

本日はお忙しい中お越し頂きありがとうございます。仲良く楽しく真摯にをモットーに歌い続けて32年経ちました。

これも、豊かな音楽性で楽しく、辛抱強く指導して下さる辻先生、笑顔とピアノで助けて下さる加納先生、厳しく、粘り強くご指導下さるヴォイストレーナーの佐竹先生・阪口先生、昨年より練習前発声担当、本宮先生のお陰と一同感謝しております。

今回のプログラムは「東北へエール」等、東北ゆかりの曲を多く取り上げ、チケット代金の一部を東北の合唱復興の為に寄付いたします。

報道等で東北の力強さ、伝統・文化に対しての思いの深さを知り、学生の歌声等に感動・勇気をいただけてきましたので、お礼の気持ちを込めました。本日は舞台から今迄支えてくれた家族、友人に歌える幸せと感謝の気持ちを伝えたいと思います。最後に、お忙しい中、情熱を持ってご指導下さいました作曲家の松下耕先生、指揮者がお休みの折、熱心にご指導頂き、本日は平太鼓でご出演の中村拓紀先生に心よりお礼を申し上げます。

くりの実会一同

皆様、本日はようこそお越しくださいました！素敵な会場でしょ！？

くりの実会は私の合唱指揮者生活の中で最もお付き合いの長い合唱団として凡そ30年の長きに亘りまして喜怒哀楽を共にして参りました。勿論これほどの長さですから、多くの出会いと時として悲しい別れも経験させて頂きながら、団長以下強い結束力と都市部特有の良い意味での個人主義と申しますかプライバシーの守り合いと言いますか、その辺のバランスが抜群に良く取れた稀有な団体だと指揮者としても誇らしい限りです。

昨今のおかあさんコーラスは、もちろんご多分に漏れず高齢化の波の中にある訳ですが、くりの実会の方々は何故か老けません！こちらが日々「古い付き古い越し」そんな恐怖心にかられます！もしかしたら本日お越しに成っておられるご家族ご友人の皆様もお感じに成っておられるかも知れません。それは選曲面にも大いに反映されておりまして、その結果が本日の難曲尽くしのプログラムと成っております。私は「それはやり過ぎじゃないか・・・曲数が多くはないか・・・覚えられるのか・・・？」などと救いの手を差し伸べるのですが、彼女たちは常に大きな壁に立ち向かう事こそが若返りの水であると言わんばかりに一見無謀な挑戦を続けるのです。そしてそれは演奏会後の打ち上げでも大いに発揮されるのです。今日は客席でお聴きくださった貴女！そんなくりの実会のお仲間になりませんか！？ヴォイストレーナーだってピアニストだって指揮者だってみんな超一流ですよ(笑)！練習日は毎週金曜日の午前10時です！大いに歓迎いたしますよ！

まあ取り敢えず今日のところは最後までお楽しみ頂けますよう、団員共々鋭意努力させていただきます。

辻 秀幸



第34回全日本おかあさんコーラス東京支部大会 2011.6.5 府中の森芸術劇場どりーむホール

メンバー

ソプラノ

池田 由美子	石井 漢津	泉田 きよ子	市川 美枝子
伊藤 知子	井原 直子	及川 純子	小野 喜久子
今野 千賀子	田邊 千純	中本 千寿子	中山 美千代
松浦 正子	森 眞矢	森岡 まき子	山根 初瀬
横田 友子			

メゾソプラノ

小澤 治子	落合 富子	熊坂 みつ子	近藤 妙子
佐藤 かほる	佐藤 澄子	豊島 法子	中島 裕子
二宮 恭子	初田 美穂子	松本 直子	丸 敬子
味形 三千代	宮下 彩子	山賀 章子	渡辺 美恵

アルト

浅野 やよい	石川 純子	伊東 幸恵	乾 洋子
上野 賀子	鬼久保 朋子	小淵 美奈子	篠崎 ちさゑ
清宮 佳子	田島 奈臣	堀岡 美也子	吉見 世始子

くりの実会のあゆみ

- 1980 3 発足（指揮者 鈴木昭子先生、ピアニスト 本林良子先生）
- 1983 9 第25回都民合唱コンクール初出場
- 1985 3 第1回定期演奏会 バリオホール
4 指揮者に辻秀幸先生を迎える
- 1988 10 第2回定期演奏会 バリオホール
10 第30回都民合唱コンクール 奨励賞
- 1991 6 第14回全日本おかあさんコーラス東京支部大会初出場支部大会賞
9 第33回都民合唱コンクール 努力賞
11 第3回定期演奏会 バリオホール
- 1992 6 第15回全日本おかあさんコーラス東京支部大会 マーガレット賞
9 第34回都民合唱コンクール 努力賞
- 1993 6 第16回全日本おかあさんコーラス東京支部大会 マーガレット賞
9 第35回都民合唱コンクール 奨励賞
- 1994 6 第17回全日本おかあさんコーラス東京支部大会 支部大会賞
11 第4回定期演奏会 カザルスホール
- 1995 10 第37回都民合唱コンクール 第3位
- 1996 6 第19回全日本おかあさんコーラス東京支部大会 支部大会賞
8 第19回全日本おかあさんコーラス全国大会（熊本）大会賞
10 第38回都民合唱コンクール 第5位
- 1998 1 第5回定期演奏会 紀尾井ホール
6 第21回全日本おかあさんコーラス東京支部大会 支部大会賞
8 第21回全日本おかあさんコーラス全国大会（倉敷）ひまわり賞
- 1999 4 JCDA 女声合唱フェスティバル 新宿文化センター大ホール
9 第40回都民合唱コンクール 奨励賞
9 千原英喜合唱作品の世界 浜離宮朝日ホール
- 2000 6 第23回全日本おかあさんコーラス東京支部大会 支部大会賞
10 第41回都民合唱コンクール 奨励賞
- 2001 4 第6回定期演奏会 紀尾井ホール
- 2003 2 NHK BS 日本のうた出演
10 第44回都民合唱コンクール 第4位
- 2004 5 第27回全日本おかあさんコーラス東京支部大会 支部大会賞
8 第27回全日本おかあさんコーラス全国大会（横須賀）ひまわり賞
11 ピアニストに 川井敬子先生を迎える
- 2005 5 JCDA 合唱フェスティバル 滝野川会館
6 第7回定期演奏会 紀尾井ホール
10 東日本合唱祭 出演（一関）
- 2007 2 日唱コーラスサロン'46 出演 横浜みなとみらい小ホール
4 ピアニストに加納文子先生を迎える
8 第30回全日本おかあさんコーラス全国大会（鳥取）大会賞
- 2007～2011 全日本おかあさんコーラス東京支部大会 支部大会賞
- 2009 3 第8回定期演奏会 紀尾井ホール
- 2010 5 30周年記念（小岩井農場にて合宿・パーティ・地元合唱団と交流会）
- 2011 6 JCDA合唱フェスティバル 北とぴあ
- 2012 5 全日本おかあさんコーラス東京支部大会 マーガレット賞